



【目次】

- ・はじめに
- 1. 見附駅周辺整備事業について
 - ① R4 予定工事の概要
 - ② 駐輪場工事中の留意点
 - ③ 事業計画の見直しの検討について
- 2. 見附駅周辺の交流や賑わい創出へ！
 - ・駅活性化から生まれた NPO 法人とは？



・はじめに

見附駅周辺整備事業は、R1～R5 までを前期計画、R6～R10 までの5 年を後期計画に位置づけて事業に取り組んでいます。今年度（R4）は、工事着手から3 年目となり、徐々にではありますが形が見えてきました。これまでに、冠水対策のため「雨水貯留槽」を整備した他、今後の駅東ロータリーの工事に先行し「送迎用駐車場」の整備も行いました。

今年度は**駐輪場改修工事**や駅舎と送迎用駐車場を繋ぐ**連絡通路の工事**等を予定しており、今号ではその概要やスケジュールについてお伝えします。また合わせて、工事期間中の仮駐輪場の利用に関する留意点等についてもご案内します。

裏面では、これまで駅周辺の活性化に取り組んできた市民団体「みつけ駅周辺つかう会議」のメンバーが中心となって、今年度に新たに誕生した「NPO 法人 do みつけ」についてもご紹介します。

1. 見附駅周辺整備事業について

① R4 予定工事の概要

今年度（R4）は、7 月中旬から、以下の3 つの工事について順に着手していく予定です。

① 駐輪場の改修工事、② 東口ロータリー内における消雪井戸削井工事、③ 送迎用駐車場と駅舎を繋ぐ連絡通路工事を予定しており、その工事予定時期や範囲（位置）は、下表及び右図でご確認ください。

特に① 駐輪場工事の施工期間中は、駐輪場の利用が出来ません。工事期間中は、右図の黄色着色（短時間利用駐車場部分）に用意する仮駐輪スペースをご利用ください。

また、上記の3 工事と合わせて、駅の東口側の市道（日通様倉庫に平行する市道）に歩道を新設する工事（④ 市道歩道新設工事）にも取り組みます。舗装工事等、道路上での工事の際には、原則片側交互通行で行います。（※通行止めは行いません。）

工事概要	工事期間(予定)	右図凡例
見附駅 周辺整備事業	① 駐輪場改修工事	令和4年7月中旬～令和4年12月末
	② 東口ロータリー 消雪井戸削井工事	令和4年9月～令和4年11月末
	③ 連絡通路工事 (送迎用駐車場⇄東口ロータリー)	令和4年11月頃～
関連事業	④ 市道歩道新設工事	令和4年5月～令和4年11月末

② 駐輪場工事中の留意点

「駐輪場の改修後はどのような施設になるの？」については、前号 2022 年度春号 vol.8 にて概要をお知らせしました。

《駐輪場改修後の計画》

1F：駐輪場改修 2F：交流待合スペース

バックナンバーから過去の出発進行をチェック！
駅周辺整備事業に関する情報も掲載しています。



駐輪場の改修工事に伴い、R4.7/19（火）より今の駐輪場の利用を停止し、仮駐輪スペースに移行します。

仮駐輪スペースの利用は、R4.7/19～R4.12 月末までを予定しており、位置は右の写真のとおりです。

工事が長期となり、駅ご利用の皆様にはご不便をお掛け致しますが、ご協力を宜しくお願いします。

【長時間駐輪自転車の一時保管について】

長時間駐輪の自転車は 7/18（月）までに仮駐輪スペースへ移動してください。利用停止時の 7/19 以降に既存の駐輪場に残っている自転車は市役所の方でまとめて仮駐輪スペースへ移動させ、一時保管します。詳細は現地の案内でご確認ください。

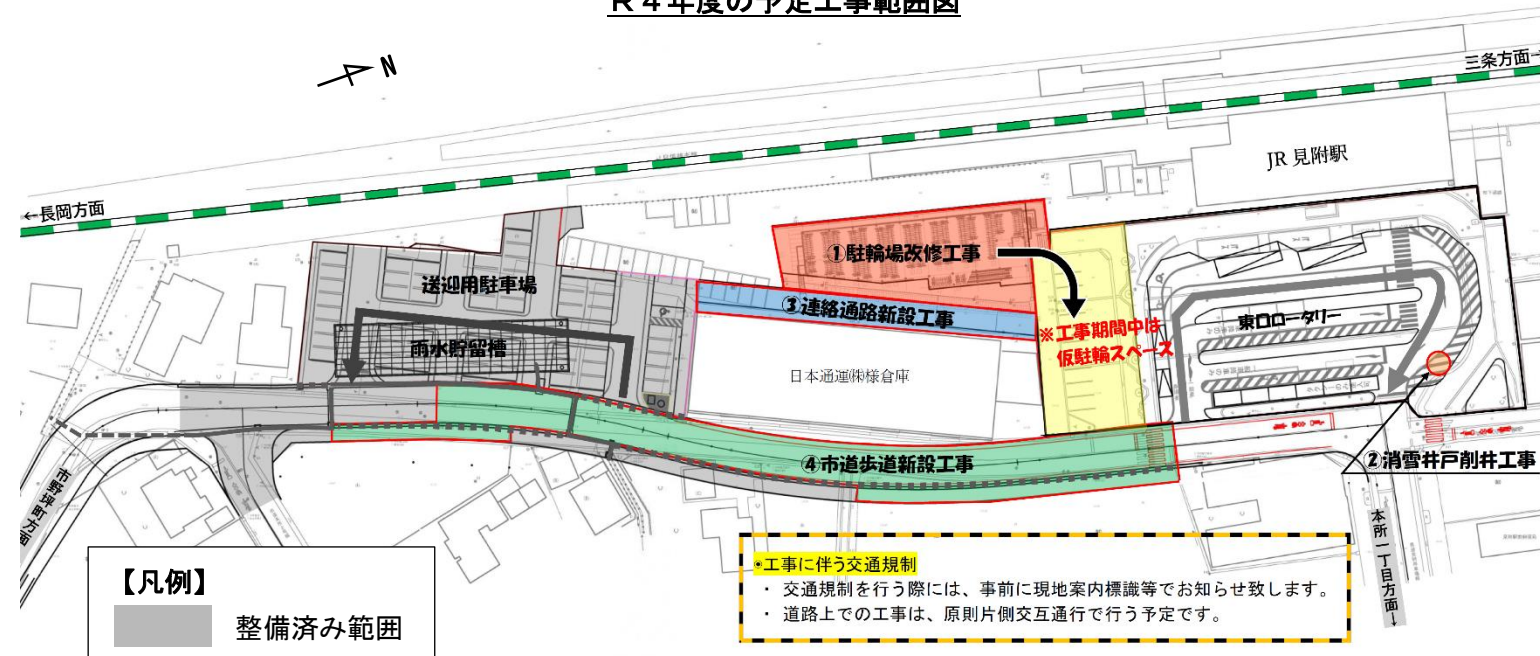


仮駐輪スペースの全景



仮駐輪スペースの想定位置

【見附駅周辺整備事業】
R4 年度の予定工事範囲図



見附駅周辺整備事業も SDGs の推進に寄与しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは
国連が 2015 年 9 月に採択された持続可能な開発目標の総称。2019 年、見附市は「SDGs 未来都市」(自治体 SDGs モデル事業)に選ばれました。

【裏面へ続く】

③事業計画の見直しの検討について

見附駅周辺再整備事業については、H30年7月に策定した「見附駅周辺整備基本計画」に基づき事業に取り組んでいるところですが、R1年～R5年を予定する前期計画も終盤に差し掛かり、R6からの後期計画に向けて準備する中で、R3年度に公表した見附市中長期財政計画（R3年～R12年）における今後の厳しい財政状況を踏まえ、本整備計画の一部の見直しに着手しました。

整備計画の見直しのポイントは、自由通路および新駅舎の整備の方向性についてです。自由通路および新駅舎の整備については、整備コストや利便性を今よりもどの程度まで向上させることができるかといった点等を踏まえ、整備の是非も含め検証を進めることとしました。

当初計画ありきではなく、他の代替案も含めて検討していきます。

整備計画の見直しの詳細については、下表で前期計画及び後期計画に区分し、各施設における検討状況について整理しています。また合わせて、下図においてその範囲もご確認いただけます。

今後、詳細が決まりしだい改めてお知らせします。

● 各整備施設における見直しの検討状況

	施設名	状況
前期計画	雨水貯留槽	整備済み
	送迎用駐車場	整備済み
	駐輪場リノベーション	R4年7月中旬より工事着手予定
	連絡通路(送迎用駐車場⇄駅舎)	R4年11月頃より工事着手予定
	東口駅前ロータリー	再検討に伴い影響を受ける可能性がある範囲
後期計画	自由通路及び新駅舎	再検討に着手
	既存駅舎リノベーション	再検討に着手
	西口駅前ロータリー	(当初計画どおり整備)
	芝生交流広場	再検討に伴い影響を受ける可能性がある範囲
	多世代交流センター(日通様倉庫)	当面、市が直接整備することは困難。 当該倉庫の民間等での活用について模索



見附駅を東側から見た完成イメージ図

市民を中心に駅の使い方を考える取り組みです

2. 見附駅周辺の交流や賑わい創出へ！



・ 駅活性化から生まれた NPO 法人とは？

見附をもっと面白く！をコンセプトに、街づくりを行う NPO 法人 do みつけ (ドゥーみつけ) が今年の4月から始動しました。

同法人のメンバーは、2018年から見附駅周辺の活性化に取り組んできた「みつけ駅周辺つかう会議」のコアメンバーが中心となって設立しました。

NPO 法人 do みつけでは、次世代を担う若者の選択肢が広がるようなきっかけづくりと、地元見附に帰属意識を高める支援事業に取り組むことを目的としています。

現在、中高生とのまちづくりを軸に、地域資源を活用した新たな賑わいや、見附駅周辺の活性化に向けたプロジェクトに向けて準備を進めています。



自分たちの住む街を大きなテーマに、中高生がやってみたいことを同法人が支援。若者が考える“面白いまちづくり”に期待が高まります。



R4.1月 見附高校生の発表の様子

【トピックス】 NPO 法人 do みつけの取り組みをご紹介します

見附の地域資源(花×ニット×バス)を活かした特設バス「HANA BUS (ハナバス)」を同 NPO 法人が主催し、みつけイングリッシュガーデンのイベント期間中に4日間運行しました。

バス車内をたくさんのお花やニットで装飾し、かわいいバスに仕上がりました。装飾で使用したニットや布生地は廃棄予定だった残糸や残布を再利用し、また飾り付けは見附高校の生徒の協力を得て完成させました。

「車内が花でいっぱい!」「写真映える♪」等の声も聞かれ、全日ほぼ100%の乗車となり、大好評の企画となりました。

今後の同法人の新たな取り組みにも注目です。



ハナバス開催中の様子



NPO 法人 do みつけの情報は FB よりご確認いただけます。

お問合せ先：見附市役所 企画調整課 都市政策室

TEL：0258-62-1700(内線316) e-mail：kikaku@city.mitsuke.niigata.jp